

整理番号	50-4	事務事業名	文化施設(芸術文化ホール・図書館)維持管理事業	作成部署	生涯学習部 芸術文化ホール	電話	372-7667	
事務区分	自治事務	法定受託事務	部長職名	山内平一郎	課長職名	広吉正則	作成日	平成17年6月
事務事業開始年度	10年度	根拠法令等	北広島市民交流センター条例・北広島市地域交流センター条例					
〃 終了予定年度								
事務事業開始のきっかけ(導入当初の目的等)	芸術文化ホール・図書館の開設に伴う施設の維持管理事業							

1 計画(プラン)

上位施策との関連(総合計画での位置付け)	章	豊かな心と個性ある文化をはぐむまち	(第4章)
	節	芸術と文化	(第4節)
	施策	芸術文化活動の振興	(第1施策)
目的(ここから成果指標を導きます)	対象(誰、又は何を)	文化施設(芸術文化ホール・図書館)の施設利用者	
	意図(何をねらっているのか、対象をどのような状態にしたいのか)	文化施設の設備、環境を良好に保持し、来館者に提供する。	
手段(ここから活動指標を導きます)	市が行った(行う)事務事業の具体的な実施内容(団体補助等)の場合はその補助金による団体の活動内容を記載)	16年度まで	文化施設の設備機器の保守点検、運転管理、清掃等、施設内外の良好な環境の保全等のための維持管理業務を実施する。 ・文化施設設備管理業務 ・除排雪業務 ・清掃業務 ・機械警備 ・電気保安業務 ・自動ドア保守点検 ・冷暖房機等保守点検 ・エレベーター設備保守点検 ・電波障害対策設備保守点検
		17年度	同上

2 実施(ドゥ)

【事業費の推移】

(単位:千円)

区 分		15年度(決算)	16年度(決算)	17年度(予算)	18年度(予定)
直接事業費	国支出金				
	道支出金				
	地方債				
	その他特財	297	142	139	139
	一般財源	74,782	70,533	67,668	67,668
	合計	75,079	70,675	67,807	67,807
人件費(概算)	人数(年間)	1.00	1.00	1.00	1.00
	1人当り年間平均人件費	9,000	9,000	9,000	9,000
	= ×	9,000	9,000	9,000	9,000
総事業費 +		84,079	79,675	76,807	76,807

【事務事業を評価する指標(ものさし)】

指 標	指 標(算式)	指 標 値			
		15年度	16年度	17年度(目標)	18年度(目標)
活動指標 (事務事業の活動量や実績)	施設利用者数(人)	394,000	367,500	367,500	367,500
	施設開館日数(日)	314	313	311	314
成果指標 (目的の達成度を測るものさし)	事故・トラブルの件数	0	0	0	0
効率指標 (主要活動単位当たりコスト)	利用者一人当たりコスト	213	217	209	209
	開館日一日当たりコスト	267,768	254,553	246,968	244,608

3 評価(チェック)と改善(アクション)

事務事業を取り巻く社会環境の変化や今後の予測・他市町村の動向等
維持管理業務は、各種設備機器のメンテナンスと運転管理を適正に実施するものであり、現在は市が直接管理をしている。平成15年9月に「指定管理者制度」が創設されたことから、今後においては、施設の管理事業を含め「指定管理者制度」の活用を検討する必要がある。

【妥当性の評価と改善の方法等】

項目	判定	判定の説明や課題	改善の方法
行政関与の妥当性 【市が実施すべき事務事業ですか。市民・企業等での実施可能性はありますか】	適切 改善の余地あり(改善の方法記入)	「指定管理者制度」の創設により、民間等への委託が可能になった。	「指定管理者制度」の活用について、検討を行っていく。
目的の妥当性 【社会経済情勢や市民ニーズの変化などから、設定した対象や意図は妥当ですか】	適切 改善の余地あり(改善の方法記入)	継続的に施設環境の保全に努めている。	
手段の妥当性 【現在の手段は適切ですか。もっと効率的で有効な手法はありませんか】	適切 改善の余地あり(改善の方法記入)	「指定管理者制度」の活用が、効率的な管理につながる可能性がある。	「指定管理者制度」の活用による、効率的な管理運営、経費の節減等を検討。
受益者負担の妥当性 【受益者負担の適正化の余地はありませんか】	適切 改善の余地あり(改善の方法記入) 該当しない	受益者負担はない。	

【有効性と効率性の評価と改善の方法】

項目	判定	判定の説明や課題	改善の方法
有効性の評価 【意図した成果は上がっていますか】	十分成果が上がっている 概ね成果が上がっている あまり成果が上がっていない 成果が上がっていない	設備機器の良好な維持管理が行われている。	
効率性の評価 【手法は効率的ですか。コスト節減の方法はありませんか】	十分効率的 概ね効率的 やや非効率 かなり非効率	設備機器のメンテナンス、運転管理、及び施設清掃は、委託により熟練した専門業者が行っている。	「指定管理者制度」の活用により、効率的な維持管理の可能性がある。

【事務事業担当部局内優先度】

部局で所管するすべての事務事業の中で、この事務事業の位置づけはどの程度ですか

A B C

4 総合判定と今後の方向性

【1次評価】	判定	今後の方向性や改善方法など
事務事業担当部局の総合判定 【上記3の評価と改善を踏まえ、今後の方向性についての総合判定と改善方法を記入】	拡大・重点化する 現状のまま継続する 見直しの上で継続する 統合する(検討含む) 縮小する(検討含む) 廃止・休止する(検討含む) 終了	開館後7年が経ち、施設の修繕が必要となってきており、今後は計画的に施設修繕を実施していく必要がある。また、現行の管理においても、省エネや効率的な維持管理業務に努めているものの、指定管理者制度の活用による維持管理経費の節減等について検討していく。
【2次評価】	判定	今後の方向性等
行財政構造改革推進本部の総合判定	拡大・重点化する 現状のまま継続する 見直しの上で継続する 統合する(検討含む) 縮小する(検討含む) 廃止・休止する(検討含む) 終了	1次評価のとおり。なお、管理等の委託業務拡大や指定管理者制度の導入検討については、行革の実行計画からも19年度までに方向性を決定する。